

医政安発 0330 第 2 号
薬生安発 0330 第 2 号
平成 30 年 3 月 30 日

公益社団法人日本臨床工学技士会会長 殿

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長
(公 印 省 略)

医療事故情報収集等事業第 52 回報告書の公表等について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医療事故情報収集等事業につきましては、平成 16 年 10 月から、医療機関から報告された医療事故情報等を収集、分析し提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しているところです。今般、公益財団法人日本医療機能評価機構より、第 52 回報告書が公表されましたのでお知らせします。

本報告書における報告の現況等は、別添 1 のとおりです。また、別添 2 のとおり、再発・類似事例の発生状況等が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書の内容を御確認の上、別添の内容について留意されますとともに、貴会会員に対する周知をお願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途公益財団法人日本医療機能評価機構から各都道府県知事、各保健所設置市長及び各特別区長宛に送付されており、同機構のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) にも掲載されていますことを申し添えます。

医療事故情報収集等事業 第52回報告書のご案内

1. 集計報告

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業（対象：2017年10月～12月に報告された事例）

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2017年			合計
	10月	11月	12月	
報告義務対象医療機関による報告件数	297	381	305	983
参加登録申請医療機関による報告件数	64	32	36	132
報告義務対象医療機関数	277	277	276	—
参加登録申請医療機関数	768	771	773	—

(第52回報告書 11～14頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2017年10月～12月	
	件数	%
薬剤	80	8.1
輸血	1	0.1
治療・処置	248	25.2
医療機器等	18	1.8
ドレーン・チューブ	74	7.5
検査	38	3.9
療養上の世話	420	42.7
その他	104	10.6
合計	983	100.0

(第52回報告書 15頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業（対象：2017年10月～12月に報告された事例）

- 1) 参加医療機関数 1,215（事例情報報告参加医療機関数 648施設を含む）
- 2) 報告件数（第52回報告書 18頁参照）
 - ①発生件数情報報告件数：228,119件
 - ②事例情報報告件数：7,250件

2. 事例の分析（第52回報告書 21～52頁参照）

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 集中治療部門のシステムに関連した事例 【第52回報告書 22～31頁参照】
- (2) 腎機能が低下した患者への薬剤の投与量に関する事例 【第52回報告書 32～42頁参照】
- (3) 開放式のドレーンチューブの体内への迷入に関連した事例 【第52回報告書 43～52頁参照】

3. 再発・類似事例の分析（第52回報告書 53～76頁参照）

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回、「再発・類似事例の分析」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 「未滅菌の医療機器の使用」 【第52回報告書 58～67頁参照】
(医療安全情報No.19:未滅菌の医療材料の使用)
- (2) 「調乳および授乳の管理に関連した事例」 【第52回報告書 68～76頁参照】
(第38回報告書)

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。

平成30年3月27日

関係団体 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部長 坂口 美佐

医療事故情報収集等事業 「第52回報告書のご案内」
お詫びと訂正

平素より本財団の実施する事業にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、このたびお送りいたしました医療事故情報収集等事業「第52回報告書のご案内」の一部にタイトルの誤りがございました。皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。つきましては、訂正版を同封いたしますのでご査収のほどお願い申し上げます。

今後とも本事業の一層の推進に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業 第52回報告書のご案内

1. 集計報告

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：2017年10月～12月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2017年			合計
	10月	11月	12月	
報告義務対象医療機関による報告件数	297	381	305	983
参加登録申請医療機関による報告件数	64	32	36	132
報告義務対象医療機関数	277	277	276	—
参加登録申請医療機関数	768	771	773	—

(第52回報告書 11～14頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2017年10月～12月	
	件数	%
薬剤	80	8.1
輸血	1	0.1
治療・処置	248	25.2
医療機器等	18	1.8
ドレーン・チューブ	74	7.5
検査	38	3.9
療養上の世話	420	42.7
その他	104	10.6
合計	983	100.0

(第52回報告書 15頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：2017年10月～12月に報告された事例)

1) 参加医療機関数 1,215 (事例情報報告参加医療機関数 648施設を含む)

2) 報告件数 (第52回報告書 18頁参照)

①発生件数情報報告件数：228,119件

②事例情報報告件数：7,250件

2. 事例の分析 (第52回報告書 21～52頁参照)

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 集中治療部門のシステムに関連した事例 【第52回報告書 22～31頁参照】
- (2) 腎機能が低下した患者への薬剤の投与量に関する事例 【第52回報告書 32～42頁参照】
- (3) 開放式のドレーンチューブの体内への迷入に関連した事例 【第52回報告書 43～52頁参照】

3. 再発・類似事例の分析 (第52回報告書 53～76頁参照)

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回、「再発・類似事例の分析」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 「未滅菌の医療機器の使用」 【第52回報告書 58～67頁参照】
(医療安全情報 No. 19: 未滅菌の医療材料の使用)
- (2) 「調乳および授乳の管理に関連した事例」 【第52回報告書 68～76頁参照】
(第38回報告書)

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。